

No.	12-2-8	場所	中川村 四徳川・小渋川合流点	次世代への継承キーワード
名称	合流点付近の崩壊状況航空写真			情報伝達網整備
災害現象	斜面崩壊			河川 四徳川
補足事項	情報通信網途絶による孤立化			支流

概要	<p>中川村でも最も被害を受けたのが陣馬形山の東側の四徳川沿いで、四徳と桑原・滝沢は家屋・農地の被害が甚大で、後の復旧が見込めず集団移住を余儀なくされた。とくに四徳地区は全戸移住となり流域は、無住の谷となり、700年以上の歴史文化に終始符を打ったのだった。</p> <p>●被災当時の記録：有線放送 MHK</p> <p>有線放送は、村内の状況を刻々とキャッチし適切な報道で大活躍した。(中略) 当日の優先放送原稿を災害を想起する資料として次に揚げるが、すべてが鉛筆による走り書きである。(中略)</p> <p>「放送室から。緊急放送のため、ボリュームをいっぱいにしておいてください」</p> <p>「対策本部から。全体的に水害が大きくなり応援はできかねるので、各部落で、総代を中心に水防につとめよ」</p> <p>「水害対策本部からの水害途中経過を申し上げます。四徳・桑原は電話不通のため、その詳しい状況はわかりません。 県道・国道、これは竜東・竜西とも全線不通。また下伊那方面との電話連絡もできず、本村は孤立状態におかれています」</p>
----	--

記録



無残に削り取られたツメあと（四徳川・小渋川合流点付近）
白く見えるのが崩壊した沢、太いのが小渋川と四徳川

出典	「語り継ぐ災害の記録」p.83/「中川村の災害史」p22
備考	

